

# 平成25年度事業報告

## 1. 火薬類に関する調査研究

### (1) 爆発安全専門部会

○第31回：平成26年1月23日（木）13:30～17:00 於 日本火薬工業会会議室

火工品・自動車用安全部品・爆発安全の3専門部会の合同開催

議事 1. 挨拶(中村火工品専門部会長) 2. 2013 International Pyrotechnic Seminar (2013IPS)の参加報告(伊達) 3. International Pyrotechnic Automotive Safety Symposium (IPASS2013)の参加報告(福岡) 4. 「てつはう」研究会の中間報告があった(畑中) 5. 「火薬類と水分(2)」の報告があった(中村) 6. エネルギー物質に関する座談会 7. 「カンボジア地雷等処理現場視察」の情報があつた(中村)

### (2) 発破専門部会

○第256回：平成25年4月22日（月）15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 日中韓火薬・発破国際会議について 2. 火取法の解釈困難点等の検討 3. ミニブラスティング等の技術的問題に関する議論

○第257回：平成25年6月20日（水）15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 「解体工法」の過剰広告に関する火薬学会の対応について 2. 日中韓火薬・発破国際会議について 3. 火取法の解釈困難点等の検討 4. ミニブラスティング等の技術的問題に関する議論

○第258回：平成25年9月5日（木）15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 日中韓火薬・発破国際会議について来年度の活動等 2. ミニブラスティング等の技術的問題に関する 3. 「クレイジーホース像」建設の様様(DVD) 5. ISEM2014の特別講演者

○第259回：平成25年11月6日（水）15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 日中韓火薬・発破国際会議について 2. ミニブラスティング等の技術的問題に関する議論 3. 地雷処理現場視察について 4. 動的破碎技術つくば研究会 5. 講演 青山学院大学 エディータ・ジェミンスカ氏

○日中韓火薬・発破国際会議参加：平成25年12月12日（火）～12月14日（木）於 中国 珠海市

○第260回：平成25年12月18日（水）15:00～17:00 於 日本火薬工業会 会議室

議事 1. 日中韓火薬・発破国際会議参加報告 2. 「動的破碎技術つくば研究会」について 3. JMAS 地雷-不発弾処理活動研修訪問の件 4. 話題提供 「IPS参加報告」、「火薬類の物理的性質に関する研究について(II)」

○第261回：平成26年1月22日（水）16:10～17:00 於 つくば 産総研会議室

議事 1. カンボジア地雷処理視察 2. 産総研爆発ドーム見学 3. 平成25年度動的破碎技術に関する研究会

○カンボジア地雷処理視察：平成26年2月18日（火）～2月23日（日）於 カンボジア国バットバン及びコンボンチュナン

### (3) プロペラント専門部会

○第153回：平成25年7月26日（金）13:30～16:50 於 日本大学 駿河台校舎523室講演

講演会 (1)日大 柱, 加藤 ICT 参加報告 (2)日大 高橋 AP系コンポジット推進薬の燃焼表面近傍の反応層でのアルミニウム粒子の集塊と着火

○第154回：平成25年8月29日（木）13:00～16:30 於 東京大学柏キャンパス

見学会：東京大学柏キャンパス見学及び核融合の講義

○第155回：平成25年9月13日（金）13:00～16:30 於 日本大学 駿河台校舎 5号館523会議室

講演会 講師：人間開発研究所代表 永岡忠彦 ロケットモータの研究開発の歴史-糸川先生によるペンシルロケットの開発から、糸川先生生誕100年に関して

○第156回：平成25年12月19日（金）13:30～16:30 於日本大学 駿河台校舎 10号館1052会議室

講演会 (1)講師：日大 鈴木, 小野高 AIAAに参加して (2)防衛省 大弓義夫 グアニルウレアジニトラミドの構造と反応性

○第157回：平成26年3月7日（金）13:30～16:15 於 日本大学 駿河台校舎 10号館1052会議室

講演会 (1)防衛大学校報告 (2) 日本大学修士報告 (3) 部会長賞の表彰

#### (4) 火工品専門部会

- 第90回：平成25年7月4日(水) 14:30~17:00 於 日本火薬工業会 会議室  
議事：1. 「特殊火工品について」その2(発表者：中国化薬(株) 環境安全担当取締役 内村浩氏) 2. 火薬類実験・試験時の事故の解析(発表者：日本火薬工業会 栗原洋一) 3. その他報告等
- 第91回：平成25年度9月6日(金) 於 北海道日油株式会社 美唄工場  
議事 1. 会社説明 2. 弾薬の廃棄処理について 鈴木製造部長 3. その他  
工場見学 1. 解撤工室、耐爆ドーム、キルン 2. ダイナマイト製造工程 3. 講演会、見学会
- 第92回：平成26年1月23日(木) 13:30~17:00 於 日本火薬工業会 会議室  
火工品・自動車用安全部品・爆発安全の3専門部会の合同開催  
議事 1. 挨拶(中村火工品専門部会長) 2. 2013 International Pyrotechnic Seminar (2013IPS)の参加報告(伊達) 3. International Pyrotechnic Automotive Safety Symposium (IPASS2013)の参加報告(福岡) 4. 「てつほう」研究会の中間報告があった(畑中) 5. 「火薬類と水分(2)」の報告があった(中村) 6. エネルギー物質に関する座談会 7. 「カンボジア地雷等処理現場視察」の情報があった(中村)

#### (5) 煙火専門部会

- 第53回：平成25年4月19日(金) 13:40~16:40 於 日本火薬工業会 会議室  
議事 1. 前回議事録の確認 2. 情報交換 3. 煙火歴史 4. 煙火用語 5. その他
- 見学会：平成25年5月22日(水) 13:00~16:00 菊屋小幡花火店、パイロテクニカ、高崎市 14名参加
- 第54回：平成25年10月18日(金) 13:30~16:50 於 日本火薬工業会 会議室  
議事 1. 前回議事録の確認 2. 情報交換 3. その他
- 第55回：平成26年2月24日(月) 13:30~16:30 於 日本火薬工業会 会議室  
議事 1. 前回議事録の確認 2. 情報交換 3. 煙火用語 4. その他

#### (6) 爆発物探知専門部会

- 平成26年2月18日に、川越の日油技研株式会社川越工場にて、「爆発性物質によるテロ対策・探知技術セミナー」を開催した。参加者は27名であった。25年度は、例年の威力、探知、テロ対策の基礎講義、探知装置、感度試験の実習を行うとともに、空港における保安対策として実務的な内容の講演も追加した。  
学会ホームページに爆発物探知、テロ対策関係用語集を公開した。

#### (7) ガスデトネーション専門部会

- 気体のデトネーションについて、主として電子メールを通して意見交換を行った。専門部会メンバーを中心に積極的に研究発表を行った。

#### (8) 爆発衝撃加工専門部会

- 第12回：平成25年5月17日(金) 9:20~9:50 於 慶應義塾大学日吉キャンパス協生館 藤原洋記念ホール  
議事 1. 学会関係の報告、共催行事等の状況、今後の運営方針など
- International Workshop on High-speed Impact Dynamics and the Applications 2013 を共催支援(2013年11月20日~21日 於 熊本大学黒髪キャンパスくすの木会館)

#### (9) 自動車用安全部品専門部会

- 第26回：平成25年3月11日(月) 13:30~15:00 於 日本火薬工業会会議室  
議事 1. 活動予定について 2. 自動車用安全部品専門用語集の作成
- 第27回：平成25年5月15日(水) 14:30~17:00 於 日本火薬工業会会議室  
議事 1. 活動予定について 2. 自動車用安全部品評価方法のまとめ
- 第28回：平成25年9月2日(月) 14:00~17:00 於 日本火薬工業会会議室  
議事 1. 活動予定について 2. エネルギー物質に関する座談会 3. 自動車用安全部品評価方法のまとめ
- 第29回：平成26年1月23日(木) 13:30~17:00 於 日本火薬工業会会議室  
火工品・自動車用安全部品・爆発安全の3専門部会の合同開催

議事 1. 挨拶(中村火工品専門部会長) 2. 2013 International Pyrotechnic Seminar (2013IPS)の参加報告(伊達) 3. International Pyrotechnic Automotive Safety Symposium (IPASS2013)の参加報告(福岡) 4. 「てつはう」研究会の中間報告があった(畑中) 5. 「火薬類と水分(2)」の報告があった(中村) 6. エネルギー物質に関する座談会 7. 「カンボジア地雷等処理現場視察」の情報があつた(中村)

#### (10) 編集委員会

論文誌Vol. 74、 No. 1～No. 6 (通巻No. 389～No. 394) 及びEXPLOSION誌 第23巻第1冊～第3冊 (通巻No. 66～No. 68) の刊行に関し、3回の編集委員会を開催した。STEM誌は全英文化を計り、邦文はEXPLOSION誌に掲載することを検討した。又、投稿規程改訂のため、小委員会を開催した。

○第296回：平成25年5月22日(水) ○第297回：平成25年9月25日(水) ○第298回：平成26年1月29日(水)

#### (11) 企画委員会(広報小委員会, 国際小委員会)

企画委員会は、学会の発展を図り、周辺領域との連携化、国際化を推進するため、立案された企画の具現化を行うとともに、広報小委員会により会員サービスの充実及び広報活動を、また、国際小委員会により、IGUS 情報の公開、ISEM2014 の開催のための情報交換を行った。

○第87回：平成25年5月28日(火)14:30～17:00 於日本火薬工業会会議室

○第88回：平成25年7月19日(金)15:00～17:00 於日本火薬工業会会議室

○第89回：平成25年9月24日(火)15:00～17:30 於産業技術総合研究所会議室

○第90回：平成25年11月21日(木)15:00～17:00 於日本火薬工業会会議室

○第91回：平成26年2月7日(金)15:00～17:00 於日本火薬工業会会議室

## 2. 火薬類に関する研究発表会、火薬研究会

### (1) 研究発表会

○平成25年5月16日(木)～17日(金) 慶應義塾大学日吉キャンパスにおいて春季研究発表会を開催した。特別講演2件、学会賞受賞者講演6件、研究発表50件、参加者186名。優秀講演賞受賞者は3名。

○平成25年12月12日(木)～13日(金) 山口県下関市の海峡メッセ下関において平成25年度秋季研究発表会を開催した。特別講演2件、研究発表45件、参加者117名であった。優秀講演賞受賞者は6名。商品・パンフ等の展示を実施した。5社(カヤク・ジャパン、シンキー、日本カーリット、日本化薬、爆発研究所)の参加を得た。

### (2) セミナ

○平成26年2月18日(火)、日油技研工業(株)川越工場において、爆発性物質によるテロ対策・探知技術セミナーを開催した。総合安全工学研究所及び全国火薬類保安協会との共催で、27名の参加者があつた。座学のほか感度試験を行った。

### (3) 西部支部研究会

○九州工業大学戸畑キャンパスで、九工大、九産大、熊大、熊本高専、福大の卒論・修論発表会を、平成26年3月5日(水)に開催した。

○西部支部の平成24年度の事業報告および平成25年度の事業計画決定する幹事会を6月19日(水)に小倉ステーションホテルで、12月12日(木)12:00～13:00に山口県下関市の海峡メッセ下関で情報交換のための幹事会を開催した。

### (4) ISEM2014

○ISEM2014開催のため、平成25年7月12日(金)、平成26年2月3日(月)に実行委員会を開催した。平成25年12月12日(木)には、会場を予定している福岡市ホテル・リゾート「ルイガンズ」において、現地での打合せを行った。又、企画委員会では、適宜開催の準備状況の情報交換を行った。

### (5) 講習会

○火薬類の製造と保安の講習会(主催 日本火薬工業会)に共催した。参加者41名。

平成25年9月2日(月)～4日(水) 於 東京都北区「北とびあ会議室」において開催した。

### 3. 火薬学会賞の授与

平成 25 年度火薬学会賞は、次の方々に授与されることになった。

審査委員長：三宅淳巳（横浜国立大学）、

審査委員：堀恵一（JAXA）、緒方雄二（産総研）、山口潤仁（カヤク・ジャパン）、内山幸一郎（日油）、木村歩（日本化薬）

受賞者 学術賞：加藤幸夫（日本工機）

論文賞：該当者なし

技術賞：佐分利禎（産総研）

技術賞：畑中修二（日本煙火協会検査所）

奨励賞：大門優（JAXA）

### 4. 学会運営

(1) 第 73 回通常総会：平成 25 年 5 月 16 日（木）慶應義塾大学日吉キャンパス

平成 25 年 4 月 1 日より「一般社団法人火薬学会」として発足した。定款施行につき、関連する細則、規程等の改正を行った。

(2) 第 73 回評議員会：平成 25 年 5 月 16 日（木）慶應義塾大学日吉キャンパス

(3) 理事会：○第 245 回：平成 25 年 4 月 17 日（水）日本火薬工業会会議室

○第 246 回：平成 25 年 10 月 4 日（金）日本火薬工業会会議室

○第 247 回：平成 26 年 3 月 12 日（水）日本火薬工業会会議室

(4) 運営委員会：日本火薬工業会 会議室

○第 114 回：平成 25 年 4 月 10 日（水）

○第 115 回：平成 25 年 8 月 19 日（月）

○第 116 回：平成 25 年 10 月 4 日（金）

○第 117 回：平成 25 年 12 月 11 日（水）

○第 118 回：平成 26 年 3 月 5 日（水）

(5) 専門部会長会議：平成 25 年 5 月 17 日（金）慶應義塾大学日吉キャンパス

### 5. 平成 25 年度中の社員の異動状況

	平成 25 年 4 月 1 日	平成 25 年度中の増減					平成 26 年 3 月 31 日	備 考
		入 会	移籍		退会・ 逝去	資格喪失		
			入会	退会				
名誉社員	3					3		
永年社員	66				5	61		
特別賛助社員	14					14		
団体賛助社員	14					14		
個人賛助社員	12		2		1	13		
団体維持社員	14					14		
個人維持社員	168	2		2	10	158		
正社員	一般	446	25		25	10	436	
	学生	30	19		6		43	
合計	767	46	2	2	47	10	756	
外国社員	11						11	
(参考) 購読社員	12						12	26 部